

平成24年度第1回仙台市防災会議

会議要旨

開催日：平成24年9月4日（火）

開催場所：仙台国際センター2階「橘」

署名委員

東北電力(株)仙台営業所長 中畑 直人

仙台市連合町内会長会会長

武田 蒼夫

平成24年度第1回仙台市防災会議 会議要旨

I 開催日時：平成24年9月4日（火）午後2時から午後4時まで

II 開催場所：仙台国際センター2階「橘」

III 出席者：別紙のとおり

IV 傍聴者：3名

V 配付資料

- ・平成24年度 第1回 仙台市防災会議次第
- ・資料1 仙台市防災会議条例の改正について
- ・資料2 東日本大震災の被害状況について
- ・資料3 地域防災計画（地震災害対策編）の見直しについて
- ・資料4 取り急ぎ行うべき防災・減災対策の主な概要
- ・資料5 地域防災計画（原子力災害対策編）の策定について
- ・参考資料1 現行の地域防災計画（地震災害対策編等の抜粋）
- ・参考資料2 東日本大震災に関する市民アンケート調査
- ・参考資料3 津波からの避難の手引き（暫定版）
- ・参考資料4 避難所運営マニュアル（素案）
- ・参考資料5 災害時要援護者避難支援プラン（全体計画）
- ・参考資料6 わが家と地域の防災チェック表
- ・委員提供資料1 「これまでの主な地震対策・仙台駅の主な被害」
（東日本旅客鉄道株式会社仙台支社）
- ・委員提供資料2 「電気通信サービスの被災状況と信頼性向上に向けた取り組み」
（東日本電信電話株式会社宮城支店）
- ・委員提供資料3 「東日本大震災の記録」
（東北電力株式会社仙台営業所）

VI 会議経過・内容

- 議長 奥山市長
- 1 開会 午後2時
- 2 挨拶 奥山市長
- 3 議事

議事録署名委員の選出を行い、中畑直人委員及び武田蔦夫委員を指名した。

(1) 報告事項

①仙台市防災会議条例の改正について

- ・ 資料1に基づき事務局（消防局防災企画課長）から報告

②東日本大震災の被害状況等について

- ・ 資料2に基づき事務局（消防局防災企画課長）から報告

《報告事項に関する質疑応答》

なし

(2) 審議事項

①地域防災計画（地震災害対策編）の見直しについて

- ・ 資料3を事務局（消防局参事（地域防災計画担当））から説明
- ・ 資料4を事務局（消防局防災企画課長）から説明

ここで委員のうち、インフラに関わる関係事業者3者から情報提供があった。

- ・ JR東日本の五十嵐代理委員から説明
- ・ NTT東日本の五十嵐委員から説明
- ・ 東北電力の中畑委員から説明

《審議事項①に関する質疑応答》

日本放送協会仙台放送局長 菅 俊秀 委員

- ・ 大震災を経験した仙台市がより災害に強い地域づくりを進めることはとても注目されることだと思うので、ぜひ実践的な計画をつくってほしい。
- ・ 報道の立場として、ライフライン情報を避難所や各家庭にきめ細かく伝えるために、行政機関、ライフライン関係機関、報道機関の連携を強化していく検討を行ってほしい。
- ・ 停電の中でラジオが効果的であったことから、公共施設などへのラジオの配備を進めることが効果的ではないか。

議長

- ・ ライフラインの情報提供に関しては、仙台市やガス局、交通、電気事業者、公共交通機関などとの連携や適時適切な報道機関への提供、そしてわかりやすく市民に提供にすることなど、十分検討して改善していく余地がある。また、公共施設へのラジオの配備などについても有効であるという有益な意見を頂いた。

NPO法人イコールネット仙台代表理事 宗片 恵美子 委員

- ・ 避難所の中では女性をはじめ、年配者や障がいのある方、子どもたちが多くの困難を抱えていた。行政や学校の職員もとても疲弊していたが、避難所の運営は地域住民が主体となって進めていくべきである。施設管理者、行政、住民で平時に組織を立ち上げ、避難所のあり方やマニュアルなどをともに考えていく仕組みづくりが必要である。
- ・ 避難所運営責任者として女性の参画が少なく、結果としてさまざまな困難が生じたことから、計画の中に女性の参画を推進することを明記してほしい。
- ・ 津波避難について、避難場所の整備として既存の高台や高い建物などを指定するとともに、そこまでの避難経路を整備し、地域住民の徒歩避難を徹底するために夜間を含む避難訓練を多く行っていく必要がある。地域に合った訓練、マニュアルなどを地域住民が主体となって作っていき、それを行政が支援して人材育成を推進していくような取り組みを計画に盛り込んでもらいたい。

事務局（消防局防災企画課長）

- ・ 避難所運営のあり方については、女性参画など今後さまざま相談させていただきたい。今回の課題の中では、避難所におけるプライベートルームや必要物資の確保などですすでに対応を実施しているところもあるので、今後これらを進めるにあたってご意見があれば頂きたい。
- ・ 津波避難については、現在東部地域で女性の方々にも参画して頂いて検討委員会で議論を進めており、より確実に命を長らえるという視点で検討し、地域の方々には説明、定着させていきたいと考えている。

議長

- ・ それぞれの地域で実際に担当する方々が顔と顔を合わせて課題を共有していくことで、地域の実態に合ったものになっていくと思うので、地域での話し合いが進むように努力したい。

ラジオパーソナリティ 板橋 恵子 委員

- ・ 先日の津波注意報発令で津波情報伝達システムが1時間半にわたって機能しなかったことは大きな問題であり、早期に原因を究明して、二度と同じミスがないように対応して頂きたい。
- ・ 避難所の見直しについて、指定避難所の被災割合、新たに市民センターやコミュニティセンターを指定することによる最大収容人数、それぞれの見直し案の実行スケジュールなどを、もっと具体的に示してほしい。

議長

- ・ 津波情報伝達システムの不具合については、音声装置の電源スイッチが切

れていたことが原因であった。切れていた理由は、職員が通りがかりでスイッチに触れてしまったか、誰かが不要不急にスイッチを切って自覚していなかったなど、いくつかの推測がある。重要な情報システムなので、当面は緊急的にスイッチにカバーをつけ、音声で現地に出ているかどうかを確実に消防情報センターで把握して、二重チェックの仕組みにするべく対応を進めているが、地域の方に不安を抱かせる結果になったことにお詫びするとともに、早急に改善を図りたい。

- ・ これまでの指定避難所は小中学校192ヶ所であったが、市民センターやコミュニティセンターのほうが行きやすい方も多いため、避難所運営のためのマンパワーが確保できるかどうかも含めて地域との間で協議し、指定避難所かそれに準じる形で利用できるよう検討している。
- ・ これらの具体的な見直しについては、今後精査しお示しできるよう整えたい。

仙台管区気象台長 川津 拓幸 委員代理 長谷川 洋平 技術部長

- ・ 啓発教育を実施する場合、例えば自然現象については大学などの研究教育機関、防災情報などについては気象台などとの協力を得て進めていくことが重要と考える。文部科学省の有識者会議の最終報告（7月）でも、関係の機関との協力を得ながら進めることが明記されており、仙台市の計画にもこのような観点を含めていくことが必要と考える。

議長

- ・ 防災教育における連携、発災時の情報提供など、いずれも関係機関や市民団体等との連携の中で進めるべきで、この点に十分留意した対策・記述になるようにしたい。

財団法人仙台市障害者福祉協会会長 阿部 一彦 委員

- ・ 障がいのある人や高齢の人の立場からは、避難の支援などに地域の理解が不可欠である。日常でも社会生活に制限を受ける障がいは、非常時にはさらに大きな問題となることを踏まえた上での検討をお願いしたい。

議長

- ・ 要援護者への支援は、地域で共通の理解として確立していないと機能しないので、十分留意した計画になるようにしたい。

公益財団法人せんだい男女共同参画財団副理事長 木須 八重子 委員

- ・ 3月まで宮城野区長をしており現場を見てきたが、日頃できていないことは非常時にはできず、日頃の小さな違いや格差は非常時には増大して現れると感じた。避難所では女性の置かれた状況は大変で日頃の暮らしの中で感じ

る問題が増幅されているように感じた。避難所運営マニュアルの記述が不十分だったこともあり、女性に対する配慮などについて十分検討して明確に記述することで、地域でのさまざまな話し合いのきっかけとなり、女性の声が出しやすい環境になっていくことを期待する。

議長

- ・ 10月の日本女性会議でも「災害と女性」というさまざまな課題の掘り起こしがなされると思うが、さまざまな経験をした被災地の我々がそのことをしっかり発信していく必要がある。今後も特に女性の意見を頂きながらそれを反映させていきたい。

株式会社仙台放送報道局長 大沼 浩一 委員代理 高荒 治朗 報道部長

- ・ 第一に逃げて命を守ることだと思う。県北では施設利用者や介護職員も多く犠牲になっていることから、特に災害時要援護者のことを考えての支援やエリア設定、津波避難施設の設置などを考えていただきたい。

議長

- ・ 津波からの避難に際して、災害時要援護者への対応をきめ細かく十分に練り上げていきたい。
- ・ 今後の地域防災計画の見直しについては、本日の指摘の点を踏まえつつ事務局で整理と成案に向けた作業を進めていきたい。お気づきの点があれば事務局にお話しいただきたい。

②地域防災計画（原子力災害対策編）の策定について

- ・ 資料5を事務局（総務企画局危機管理室長）から説明

《審議事項②に関する質疑応答》

議長から、福島第一原子力発電所事故の状況等を踏まえ、専門部会を立ち上げて、専門的な知見を有する方の意見を反映しながら、課題についてしっかりと議論したいと考えている旨、コメントがあった。

本議案に対する委員からの意見はなかったため、まずは原案通りに進め、適宜報告の中で意見を頂くこととなった。

4 その他 事務局、委員から発言はなかった。

5 閉会 議長から、本日の意見を踏まえて見直し作業を進めていき、適宜委員の協力をお願いする旨のコメントがあり、平成24年度第1回仙台市防災会議は散会した。

平成24年9月4日 仙台市防災会議出席者名簿

機 関 名	委 員		代理出席	
	委員職名	委員氏名	職名	氏名
指定地方行政機関(8名)				
東北財務局	局長	北村 信	総務部長	伊藤 憲昭
東北地方整備局仙台河川国道事務所	所長	桜田 昌之	防災課長	下田 一朗
東北経済産業局	局長	山田 尚義	総務課	服部 鷹
東北運輸局	局長	長谷川 伸一	総務課	及川 三千男
仙台管区气象台	台長	川津 拓幸	技術部長	長谷川 洋平
宮城海上保安部	部長	大久保 安広	本人出席	
東北農政局	局長	佐藤 憲雄	調整官	仙波 靖
仙台森林管理署	署長	嶋崎 省	本人出席	
自衛隊(1名)	委員職名	委員氏名		
陸上自衛隊第22普通科連隊	連隊長	永田 真一	重迫撃砲中隊長	菅野 康弘
宮城県知事部局(1名)	県知事部局			
宮城県	総務部危機管理監	石森 建二	本人出席	
宮城県警察(6名)	委員職名	委員氏名		
宮城県警察本部	仙台市警察部長	菅原 由弘	庶務課長	曾根 靖義
仙台中央警察署	署長	横山 利春	警備課長	大石 明義
仙台南警察署	署長	阿部 英明	警備課長	山田 信敏
仙台北警察署	署長	清水 政則	警備課長	佐藤 誠
仙台東警察署	署長	倉島 英明	警備課長	本田 禅
泉警察署	署長	遠藤 和雄	警備課長	大久保 孝司
指定公共機関(7名)	委員職名	委員氏名		
東日本旅客鉄道(株)仙台支社	取締役支社長	里見 雅行	安全企画室長	五十嵐 一博
東日本電信電話(株)宮城支店	支店長	五十嵐 克彦	本人出席	
東北電力(株)仙台営業所	所長	中畑 直人	本人出席	
日本通運(株)仙台支店	執行役員兼支店長	村上 浩之	欠席	
日本赤十字社宮城県支部	事務局長	鈴木 隆一	事業推進課長	猪野 健
日本放送協会仙台放送局	局長	菅 俊秀	本人出席	
東日本高速道路(株)東北支社仙台管理事務所	所長	青木 喜久雄		細川 送男
指定地方公共機関(5名)	委員職名	委員氏名		
東北放送(株)	報道制作局長	佐々木 一則	本人出席	
(株)仙台放送	報道局長	大沼 浩一	報道部長	高荒 治朗
(株)宮城テレビ放送	報道制作局長	佐藤 久朋	本人出席	
(株)東日本放送	役員待遇コンテンツセンター長兼報道制作局長	加藤 昌宏	報道部長	加藤 東興
(株)エフエム仙台	放送本部放送部長	澁谷 彰一	本人出席	
公共的団体(10名)	委員職名	委員氏名		
仙台市医師会	会長	永井 幸夫	理事	瀬野 幸治
宮城中央森林組合	代表理事組合長	赤間 長男	参事兼理事	結城 淳
仙台市連合町内会長会	会長	武田 篤夫	本人出席	
仙台市民生委員児童委員協議会	理事	松本 淑子	本人出席	
仙台市婦人防火クラブ連絡協議会	会長	森 妙子	本人出席	
仙台商工会議所	女性会副会長	荒井 美佐子	欠席	
仙台市社会福祉協議会	会長	佐藤 政一	本人出席	
仙台市障害者福祉協会	会長	阿部 一彦	本人出席	
(財)仙台国際交流協会	副理事長	池田 規子	本人出席	
(財)せんだい男女共同参画財団	副理事長兼事務局長	木須 八重子	本人出席	
防災に関し識見を有する者(2名)				
NPO法人 イコールネット仙台	代表理事	宗片 恵美子	本人出席	
ラジオパーソナリティ		板橋 恵子	本人出席	

平成24年9月4日 仙台市防災会議出席者名簿

消防団(7名)		代理出席	
委員職名	委員氏名	職名	氏名
青葉消防団長	熊谷 繁勝	本人出席	
宮城野消防団長	福來 隆	本人出席	
若林消防団長	佐藤 守行	本人出席	
太白消防団長	高橋 次男	本人出席	
泉消防団長	今野 信一	欠席	
宮城消防団長	加藤 稔	本人出席	
秋保消防団長	佐藤 壽晴	欠席	
仙台市(23名)			
委員職名	委員氏名		
市長(会長)	奥山 恵美子	本人出席	
副市長	藤本 章	本人出席	
総務企画局長	高橋 一典	本人出席	
市民局長	上田 昌孝	本人出席	
健康福祉局長	高橋 宮人	次長	守 修一
子供未来局長	西城 正美	本人出席	
環境局長	大友 望	本人出席	
経済局長	高橋 裕	次長	木村 智
都市整備局長	小島 博仁	本人出席	
建設局長	吉川 誠一	本人出席	
青葉副区長	並河 紋子	本人出席	
宮城野区長	曳地 泰志	副区長	境 洋文
若林区保健福祉C	赤井 由紀子	欠席	
太白区長	西堀 耕造	本人出席	
泉区保健福祉C	下川 寛子	本人出席	
水道事業管理者	山内 晃	本人出席	
交通事業管理者	中鉢 裕	本人出席	
ガス事業管理者	佐藤 均	本人出席	
病院事業管理者	遠藤 一靖	本人出席	
教育長	青沼 一民	本人出席	
危機管理監	佐藤 孝好	本人出席	
復興事業局	山田 文雄	本人出席	
消防局長	高橋 文雄	本人出席	